

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成11年1月11日

第41報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体種
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	5		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2900		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	15		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	100		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	90		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella stelligera</i>	5		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	530		
(珪) <i>Stephanodiscus</i> sp.	20		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	80		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	140		
(珪) <i>Synedra rumpens</i>	5		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	5		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	5		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	15		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	25		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	5		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	500		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	5		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	5		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	80		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	5		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	15		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	10		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	5	0.1	4.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	3115	66.9	66.6
(珪) 珪藻綱	815	17.5	15.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	0.6	0.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	560	12.0	11.4
(み) みどり虫藻綱	5	0.1	0.0
(緑) 緑藻綱	115	2.5	2.4
(他) その他のプランクトン	10	0.2	0.0
総細胞数	4655	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	1.65E+06
種類数	27		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Stokesia</i> sp.	40

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



***Uroglena americana***  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



***Stokesia* sp.**  
(ストケシア)  
繊毛虫類

個体の腹側は平らであり、密に繊毛が生えている。体の周縁部に比較的長い繊毛を持っている。繊毛虫の仲間では、大型の種類である(個体の長さ100~200 $\mu\text{m}$ )。南湖において春季に観察されている。

コメント: 植物プランクトンは、黄色鞭毛藻のウログレナが最も多く、群体数は12群体/mlであった。動物プランクトンは少なく、繊毛虫類のストケシアが40個体/lで最も多かった。